



高木小路行政区有志によるご祝い唄

11月17日(日)、第15回矢沢伝統芸能伝承大会は超満員の観客が見つめる中、8団体が伝統芸能伝承の思いを熱く演じました。

岩手県指定無形民俗文化財である幸田神楽、胡四王神楽に加え高松神楽の初登場もあり、会場からは各団体の熱演に大きな拍手が沸き上がりました。

みんなの力で伝える伝統芸能
第15回矢沢伝統芸能伝承大会開催



やわさこども園年長園児によるしながく

初登場の司会者
矢沢小学校 PTA 会長
杉本博紀さん

矢沢地域情報誌

やまぼろひ

No. 50

2024年 12月 15日

発行/矢沢地域振興会(矢沢振興センター内 会費 29,548円) 印刷/トーバン印刷株式会社

mail: yashinkai025@gmail.com



胡四王百姓踊り保存会による百姓踊り



胡四王神楽の小学生による三番叟



島こども園年長園児による和太鼓「童謡・蕾夢」



初登場高松神楽による鶏舞



胡四王神楽の小・中・高生による四人八幡舞



幸田神楽による松迎



胡四王婦人神楽による権現舞



幸田神楽による五穀舞



胡四王神楽による鞍馬

プールサイドに歓喜」 矢沢小の消防体験

9月17日、花巻市消防団第4分団が主催し、矢沢小学校3年生を対象にした消防出前授業を開催しました。この取り組みは、昨年度から開催しており今回が2回目です。

当日は天候に恵まれ、消防団からは5名、消防本部から2名で消防団の活動の取り組みや資機材の紹介、実際にプールから消防ポンプを活用して水をくみ上げての放水や消防車両の乗車体験を行いました。

この企画の目的は、消防防災の重要性や消防団活動を理解して頂くと同時に、実際に触れて体験することにより、児童の学びの探求や将来消防人を志すきっかけになればと思います。



実際に参加した児童からは、「消防団と消防署の違いを学ぶことができた」、「様々な体験し、将来消防士になりたいと思った」等、多くの感想が寄せられ、改めて出前授業の重要性を認識することができました。

現在消防団は、人口減少や地域活動が希薄化する中で、団員の確保が重要課題となっております。時代の変化に合わせてこれまでの活動を見直し、地域や学校と一体となった活動を展開し、更に地域に根ざした魅力ある消防団活動を展開してまいります。

花巻市消防本部分団長

佐藤 峰樹



人生の先輩に敬意を込め 地区敬老会盛大に開催

高齢化が進む中での矢沢コミュニティとしての敬老会の開催は難しくなり、昨年度から敬老会の開催等対応は各行政区に委ねられております。

今年度は高木第三、高松第一、東十二丁目の三行政区が地区敬老会に取り組みました。各行政区では地域の特徴を生かし、知恵を絞って盛大に敬老会を開催、出席者からは好評と感謝の声を頂いています。

高木第三行政区

9月16日に80名の敬老会が出席し団地会館で行われました。会では詩吟で始まり、団地が誇る7名の名手



の祝いの舞で花を添え、楽しい一日となりました。

高松第一行政区

11月3日に下駒板公民館で行われました。敬老会に先立って行われた「敬老・健康長寿祈願祭」では権現様に頭を觸んでもらい無病息災を祈願しました。



東十二丁目行政区

9月23日に島コミュニティセンターで初めて行われました。総勢80名が出席。島こども園の和太鼓「葦薔・薔夢」から始まり漆原栄美子一座による民謡・歌謡ショーに出席者は酔いしれました。



小学校コーナー

矢沢小学校学習発表会

10月19日の土曜日、矢沢小学校の学習発表会が行われました。今年度からは、来場に制限を設けず、全ての学年を自由に参観できることとしました。児童の発表内容について以下に紹介します。

トップバッターは、3年生の音読「ことばあそび」です。詩や早口言葉などを様々なりズムに乗せて元気いっぱい発表し、会場を盛り上げました。続いて、5年生の学習発表「コマ作りの課題」自分たちにできること」です。今年度、田植えや稲刈りを体験した5年生が、コマ作りの手順や課題について、ボードや体を使って集団表現しました。続いて1年生によ



る劇「おむすび ころりん」です。小学校初めての発表会でしたが、各教科で身につけたことを大きな声で堂々と発表できました。

後半のスタートは、2年生による劇「2年生ジャングルたんけんたいからアドベンチャー」です。ジャングルの中で様々な動物と出会い、難題をクリアしていくこの創作劇は、元気な2年生にぴったりのストーリーでした。続いて、4年生による合唱「MUSIC しあわせになあれ」です。リズムに合わせて元気に踊って歌った1曲目。想いをこめてやさしくしつとり歌い上げた2曲目。会場全体がしあ

わせな空気に包まれました。

そして、ラストを締めくくったのは、小学校生活最後の発表となった6年生の学習発表「宮沢賢治の夢」です。花巻の偉人・童話作家である賢治先生の生涯や作品について、劇を交えて分かりやすく表現してくれました。

会場いっぱいのお客様から温かい拍手をいただき、児童は達成感や満足感を強く感じる事ができました。今後とも、地域の皆様の応援を力に、学習に励んでまいります。

中学校コーナー

吹奏楽部第37回定期演奏会

【10月5日（土）】

会場のなはんプラザに沢山の方々をお迎えして、第37回吹奏楽部定期演奏会が行われました。コンクール曲からポップな曲まで様々なジャンルの曲を演奏し、来場者を魅了しました。また、当日は、北上ウインドアンサンブルのみなさんにも賛助演奏をしていただき、花を添えていただきました。

東雲祭（文化祭）

【10月26日（土）】

今年度は「英語暗唱」、「わたしの主張」、「合唱コンクール」、



「吹奏楽部」のステージ発表で構成した「東雲祭」。生徒たちの練習の成果が、会場いっぱい伝わり、素晴らしい発表でした。コンクールの結果は、3年A、B組が最優秀賞に輝きました。生徒会企画も大いに盛り上がり、全校制作のモザイク画を背景に、「芸術の秋」実り多き一日となりました。

令和6年度「岩手県中学校新人大会」

【10月16日・17日、

11月16日・17日】

9月に市新人大会を勝ち抜いた選手たちが6つの競技に出場しました。軟式野球部は、4校（南城、矢沢、宮野目、花巻北）合同チームで出場し、男子ソフトテニス部（団体・個人）、女子バレーボール部、柔道部男女（女子団体、男女個人）、女子バドミントン部（個人）です。主な結果は以下のとおりです。

◎柔道競技女子個人

第3位 40 kg級 菅原純鈴

ベスト8 52 kg級 高橋亜唯羅

第3位 70 kg級 菅原侑里

◎バドミントン競技個人

女子ダブルス

第2位 野呂萌々花・

野呂奈々花ペア

ベスト8 吉田羽那・

中屋敷真央ペア



息の合った
カサブラシカの
ワルツ



トップバッター藤美会の民謡



司会デビュー
大森松司さん

11月9日・10日開催の矢沢地区文化祭には、展示品九百点、ステージ発表11演目、特別展としてダンボールアートと多彩な催し、更にはハンドメイドと生け花の体験コーナーも人気を博し、多くの来場者で賑いを見せました。

文化の香り！ 華やかに開催！ 矢沢地区文化祭



かつぼれ同好会の最後の公演



花陽会による舞踊



矢沢吟詠会による詩吟



小野絃輝さんによるテノール独唱



風のハーモニーによる混声合唱



高橋純子さんの舞踊「寿獅子」



崇扇会による舞踊



矢沢コーレファミリー
指揮は多田功文化祭実行委員長



初出展 やさわの園の作品



ハンドメイド体験で帽子マグネット



ママこども保育園の作品



特別展示 段ボールアート

【編集後記】

11月9日(土)・10日(日)、矢沢地区文化祭が矢沢振興センターを会場に開催されました。絵画や写真、書道、子供たちの作品など心のこもった作品の展示会や舞踊、合唱、テノール独唱などのステージ発表と華やかな文化祭となりました。

また、17日(日)には矢沢伝統芸能伝承大会が開催されました。こども園子供たちの和太鼓や胡四王百姓踊り保存会による「百姓踊り」、胡四王神楽や幸田神楽など迫力ある圧倒的な演舞など素晴らしい伝統芸能大会でした。神楽では中高生や若い世代が出演、確実に伝統が伝承されており嬉しく思いました。

さて、本誌「矢沢地域情報誌・やまぼうし」は今回が50号の発行となります。毎回、地域の活動やイベントの情報、各種サークルの活動、小学校・中学校のお便りなど盛りだくさんの内容でした。今後も地域の生き生きとした情報・話題を発信していきたいと思えます。

編集委員 佐藤信一